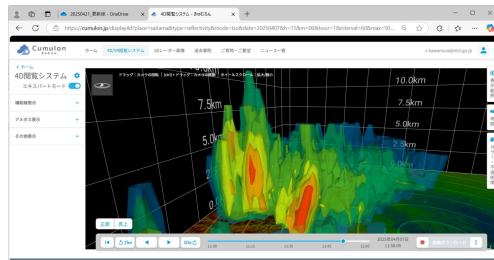


最新型気象レーダー（MP-PAWR）の活用事例の紹介 ～「きゅむろん」 4次元可視化システムと大阪・関西万博での取り組み～



概要

リモートセンシング研究室では、最新型気象レーダー（MP-PAWR）の利活用推進を目指し、様々な取り組みを行っています。大容量データを圧縮転送できるデータ配信プラットフォーム「きゅむろん」や、機械学習を利用したAIナウキャストなどを開発し、これらを用いて大阪・関西万博での実証実験も行っています。

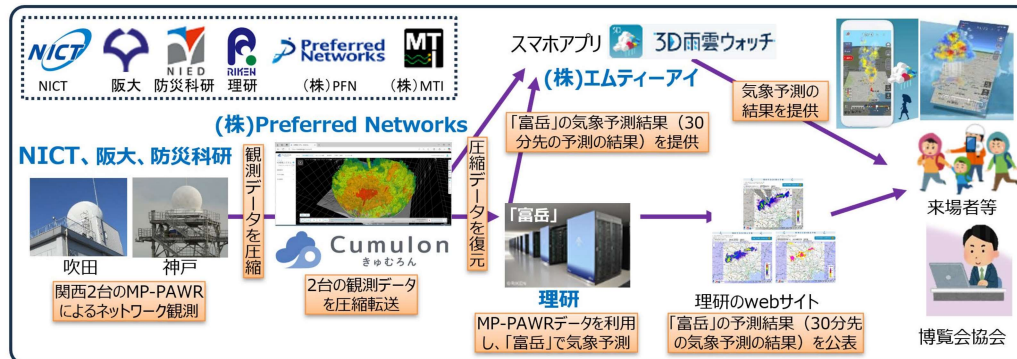


MP-PAWRデータ配信プラットフォーム「きゅむろん」の4次元可視化システムの画面。



携帯アプリ「3D雨雲ウォッチ」では、NICTが開発したAIナウキャストの予測結果もプッシュ通知されます。

<http://pawr.life-ranger.jp/>



大阪・関西万博での取り組みの概要。関西2台のMP-PAWRデータを活用した気象及び気象予測情報の提供を行います

（富岳を用いた気象予測は8月5日から8月31日の間のみ実施予定）。本研究は、「リモートセンシング技術のユーザー最優先データ提供に関する基盤技術の研究開発」（JPM100316）の支援を受け行われています。

特徴

- ・ 時空間分解能の高いマルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダー（MP-PAWR）の活用
- ・ AIを活用した大容量MP-PAWRデータの圧縮伝送
- ・ 4次元（空間3次元＋時間）可視化機能

ユースケース

- ・ ゲリラ豪雨や線状降水帯などの大気状態の早期探知や発達メカニズムの解明
- ・ 気象予測情報の提供
- ・ 増大する自然災害の被害軽減への貢献

今後の展開

- ・ 大阪・関西万博での実証実験（MP-PAWRと富岳を用いた高性能気象予測、AIナウキャストなど）
- ・ MP-PAWRデータの利活用推進（道路冠水予測アラートなど）
- ・ MP-PAWRの普及

【お問合せ先】

電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター リモートセンシング研究室
Mail : OH2025-RES@ml.nict.go.jp